



さわやかに しなやかに

～SEISHO PRIDE～

【自立】さわやか挨拶・自ら進んで学習

【貢献】活力ある生徒会活動・いじめ根絶

【創造】響き合う合唱・成長し合える仲間



(青翔中学校 HP)



生徒の素晴らしさを感じた3日間

校長 桑島久典

慌ただしい4月とゴールデンウィークも終わり、生徒たちは少しずつではありますが、落ち着いた学校生活を過ごし始めております。

3年生にとっては、中学校生活最大の学校行事である修学旅行に「**楽学両道(らくがくりょうどう)～学ぶ・切り替え・思いやり～**」をスローガンに掲げ、5月15日(水)～17日(金)の期間で東京・横浜方面に行ってきました。新千歳空港に集合・解散するという新しい試みではありましたが、参加予定していた生徒全員が遅れることもなく無事出発することができました。初めて乗る飛行機に歓声を上げる生徒やどこの上空を飛行しているのだろうと窓を覗く生徒など様々でした。羽田空港から国立競技場・東京スカイツリーに向かうバスの中では、都会の大きさ、ビルの高さに驚く生徒もいました。



また、2日目の鎌倉自主研修では、仲間と協力しながら切符を買ったり、時刻表を確認したりしながら、それぞれが決めたコースを巡っていました。一昔前であれば観光マップと路線図、時刻表を片手に、子供たちがどっちに行ったらいいのだろうと考えながら行っていました。貸し出したスマートフォンの地図アプリを駆使しながら、見聞を広げる姿に時代を感じていました。目的地での研修を終え、集合場所である鶴岡八幡宮に戻ってきたとき「疲れた・たくさん歩いた・緊張した」と口々に16時30分に「全員がそろっている」という素晴らしい学年集団だと改めて感じました。

最終日は、新横浜から首都高速で上野まで向かいましたが、金曜日ということもあり渋滞に巻き込まれ、上野恩賜公園での時間を十分に確保できなかったことが悔やまれますが、心配していた天気も1日目の夕食を終えバスに乗り込むまでに少し雨にあっただけで、暑すぎず、寒すぎず過ごしやすい環境のなか、生徒たちの頑張りが随所で輝き、大きな収穫を得て無事終了することができました。

早朝からお弁当づくりやお見送り、お迎え、持ち物の準備など、ご協力いただきありがとうございました。

～温かいご声援をお願いします～

明日、5月30日(木)は、第16回体育大会となります。今年は、実質1週間程度の短い取組期間でしたが、その分、各学年熱心に練習に励んでくれました。今年のスローガンである「**飛翔勢勝(ひしょうせいしょう)**」を合い言葉に、学級の団結力を高め、中学生らしいプレーが見られることを期待したいと思います。保護者の皆様、地域の皆様、それぞれの学級が優勝を目指し、ともに競い合う姿に温かい声援を送りながらご覧ください。

【青翔中生の活躍】

青翔トピックス

○バレーボール

中学校春季バレーボール選手権大会：女子準優勝

○卓球

春季中学卓球大会：男子団体戦優勝、男子シングルス（〇〇〇〇）第3位

女子団体戦優勝、女子シングルス（〇〇〇〇）第3位

ヤサカ杯西胆振中学生卓球大会：男子団体戦優勝

女子団体戦準優勝



○バスケットボール

苫小牧地区U15春季バスケットボール大会：男子準優勝

○ソフトテニス

苫小牧市教育長杯争奪苫小牧地区中学校団体対抗ソフトテニス大会：男子団体準優勝

女子団体準優勝



○野球

苫小牧民報杯争奪東胆振中学校春季野球大会：第3位

○バドミントン

東胆振中学校春季バドミントン大会：女子シングルス（〇〇〇〇）ベスト8、（〇〇〇〇）ベスト16

6月・7月の主な行事

- 1日（土）東胆振中体連
- 2日（日）東胆振中体連
- 3日（月）生活向上週間～14日（金）
- 7日（金）歯科検診（全学年）
- 8日（土）東胆振中体連
- 9日（日）東胆振中体連
- 10日（月）夏服着用開始・職員会議
- 11日（火）常任委員会
- 13日（木）全協
- 15日（土）東胆振中体連

- 16日（日）東胆振中体連
- 21日（金）定期テスト①
- 25日（火）全国体力・運動能力、運動習慣等調査生徒質問調査（2学年）

《7月》

- 2日（火）いじめ問題子どもサミット
- 8日（月）宿泊研修（2学年）～9日（火）
- 9日（火）参観日（3学年）
- 10日（水）参観日（1学年）
- 16日（火）参観日（2学年）

6
June

7月
July

＜学びの居場所さがし＞

苫小牧市教育委員会が公開している「学びの居場所さがし」のリーフレットを改めて紹介します。このリーフレットには、市内の教育支援センター（適応指導教室）やフリースクール等民間施設、悩み事相談窓口の一覧がまとめられており、生徒や保護者がどこに相談したらよいかなどの疑問にこたえるためのものになります。

学校外にも多くの関係機関が子どもたちの健全育成に携わっていることをご紹介します。

